

わくわく通信

【発行者】

特定非営利活動法人わくわくネットいわき

〒970-8028

福島県いわき市平上神谷字神谷分 22-1

TEL 0246-57-0255

FAX 0246-57-0256

令和5年度法人研修「黒澤正子氏」を招いて

理事長 新妻 寿雄

令和5年度も宜しくお願い致します。今年も4月16日(日曜日)に職員約53名の参加のもと法人研修を開催致しました。今年度は、秋田県社会福祉法人 花輪ふくし会(児入所) 東山学園元職員黒澤正子先生をお招きして講演会を開きました。

タイトルは「さりげなく、当たり前前の生活—無ければ、作ればいい—」。強度行動障がい児との関わりから TEACCH プログラムの出会い、例えば「服のボタンを閉める」という生活課題に対して、「指先を使う」「手首を使う」等、どれだけ問題を多角的に見るか、必要な課題を見つけられるか等のアセスメントが必要であるとのお話があり、そこから、私は支援者として重要なスキルを学びました。

また、いただいた講演会資料(平成29年11月15日号 月刊「さぼーと」)に、「大切なこと」は避けたいという風潮がある中で、「大変なこと」であっても、その仕事や役割の本質的な部分に関わることであれば、自らの時間、体、努力や思いをかけるに足る仕事なのだ、ということではないだろうか、という一文があり、利用者様の困り感をチームで支援することの重要性を学びました。

まだまだ黒澤先生のお話の中で支援の参考になるところは沢山あるので、職員一丸となって改善し、対処していきたいです。

私も前年度の「さぼーと」に出した「現場実践から学ぶ知的障害児・者支援[困難事例編]」、続いて2014年に再度本の出版を行い事例について文章を書かせて頂きました。ここで書かせて頂いた利用者S様は現在でも、交通機関の利用時に困難を抱えています。このような困難事例を通し、私たちの実践例を報告させて頂き、皆様からのご意見で学びを深めさらに支援の質を高めていきたいと考えております。

また、これから運営計画、ならびに職務分担、人材キャリアパス等幅広く計画し、実行していく所存です。そのなかで、「甘えた社員になってない?」「仕事の基本!これだけはやりなさい!」「社会人・相談で活気のある職場を作ろう!」、この4つを職員に対しての訓話とし、今後共通の課題として取り組み、職員力を高めていきたいと思います。さらに、利用者様が地域で、少しでも安心安全に暮らせるよう職員一同尽力していきたいと考えております。

今後とも、特定非営利活動法人わくわくネットいわきを、どうぞ宜しくお願い致します。





事業所紹介

セカンドハウスわくわく（放課後等デイサービス）

セカンドハウスわくわくでは、今年度新人職員の新田涼子さんが加わり、職員・支援員総勢 7 名でのスタートとなりました。今までと変わらず環境調整や、利用児さんひとりひとりの特性理解に努め、親御さんが安心して通わせる事が出来る事業所を又、利用児さんが楽しかった、また行きたいと思える「第二の家、セカンドハウス」を目指していきます。

今年度ご理解、ご協力宜しくお願い致します。

岩尾玲子 長谷部妙子 新田涼子 八島きよ美



西牧啓介

新妻弘治朗



居宅介護・移動支援・行動援護

今年度から、鶴沼紀夫さんを迎え新体制になりました。利用者様ひとりひとりの特性を理解し「わかるから、できた!」という経験を積み重ねていけるような支援をこころがけています。利用者様と共に成長していけることを目指して努めさせていただきます。よろしくお願いいたします。



江原美由紀

新妻弘治朗

鶴沼紀夫



放課後等デイサービス セカンドハウスほっぷ

セカンドハウスほっぷでは、中学生、高校生にご利用頂き、就労を見据え、ライフステージに合わせたプログラムを考え、活動に取り組んでおります。一人一人の「やってみたい」を大切に、自己選択・自己決定が出来る支援を目指しています。今年度から職員の異動で、新体制となりました。職員一同、ご利用者様と共に学び、共に成長し、更に安心して過ごせる居場所作りに努めて参りますので、よろしくお願いいたします。



浦井常吉 石上卓也 原友広 庄司結衣 岳野美絵



児童発達支援センターわくわくキッズ

毎年3月には卒業生を送り出し、4月には新しいお子さんを迎え入れると、新年度がスタートした実感がわいてきます。お子さんたちひとりひとりの特性を理解し、「わかるからできる！」という経験を積み重ねていけるように療育を提供していこうと思います。また、保護者の皆様や関係機関の皆様とは、お子さんたちの特性や成長を共有し、一緒に悩み、喜び、様々なことを話し合っていけたらと思います。お子さんたちが楽しく通ってくれる事業所を目指して、今年度もよろしくお願いいたします。

わくわくキッズの先生たち



ゆいまーる・ふくしま



令和5年度は17名の新しい利用見さんをお迎えして始まっています。

今年度もお子さん達に、「わかった!」「できた!」「たのしい!」という体験をたくさんしてもらえるように、お子さん達から学ばせてもらいながらスキルアップしていきたいと思ひます。

職員体制は変わっていますが、お子さんや保護者様に安心していただけるようチームワークで支援に臨み、お子さん達から癒しの笑顔をもたらえるように頑張ります。今年度もよろしくお願ひ致します。



渡邊しのぶ



大内 亜希



新妻留美子



西山 清香



片寄 弘美



草野 睦



木村 志麻



藁谷 裕吉
(ドライバー)



大和 正行
(ドライバー)



チャレンジド

いつもお世話になっております。生活介護事業所チャレンジドです。皆様には、日頃から空き缶、ペットボトル、段ボールの収集にご協力頂き誠にありがとうございます。皆様のご協力のもとチャレンジドのご利用者様も社会貢献に繋がる作業に取り組むことが出来ています。地域社会との関わりがもてることに深く感謝申し上げます。今年度は、常勤職員2名と非常勤職員1名の配属となりました。新しい職員と共に協力し合い利用者様にとって良い支援が出来る様に頑張っていきたいと思ひます。今後とも皆様のご助言、ご指導のほど宜しくお願ひ致します。

上段左から
中野守雄
斎藤敦史
吉田安子
新妻寿雄
木村唯
渡邊圭子
草野睦



竹田早紀 仁平博紀
田中紀美 原美穂

岡ノ谷紗彩 田中敬子
小野久美子

和-夢わくわく

和-夢わくわくは、新年度も職員体制は変わらず2名体制（高萩・岡部）でやらせて頂きます。昨年度は、コロナのまん延によりサービス担当者会議の調整など上手く進まない時もありました。しかし、皆様からの会議開催を望む声に勇気を頂き、今「できる」形での開催に努めることができました。本当に、ありがとうございます。

新年度も、皆様との「つながり」を大切に相談業務に取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



岡部太郎 高萩弘子



セカンドハウスわくわく 事務

本部事務2年目となりましたが、まだまだ勉強中!!です。各事業所とのより一層スムーズな対応ができるよう、年齢に負けずこれからも頑張っていきたいと思ひます。保護者様、他事業所の皆様とは電話・請求業務を通してやり取りさせていただいておりますが、今後も、間違い・誤発送のないよう日々の業務に取り組んでまいりますので、よろしくお願ひ致します。



近江 章子



新入職員紹介

4月からセカンドハウスわくわくに配属となりました新田涼子です。先輩方、そして利用児童たちからたくさんのことを学ばせて頂いている毎日です。利用児童、保護者様にとって、安心安全な支援環境を提供できるように、一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。



4月1日より、ゆいまーる・ふくしまに配属になりました、片寄 弘美と申します。

未経験の職種ですが、利用者様とご家族様に寄り添った支援ができるよう頑張っていきますので宜しくお願い致します。



お知らせ

- 5/23 (火) わくわくキッズ避難訓練
- 5/24 (水) チャレンジド外出活動
- 5/26 (金) ゆいまーる・ふくしま避難訓練
- 5/27 (土) 理事会
- 6/1 (木) わくわく広場
- 6/23 (金)・24 (土) 外部講師 (中山清司先生) によるコンサルテーション
- 7/1 (土) セカンドハウスほっぷ保護者学習会
- 7/8 (土) セカンドハウスわくわく保護者学習会
- 7/14 (金) 15 (土) 福島県強度行動障害支援者養成研修 (基礎研修)
- 7/15 (土) チャレンジド保護者学習会
- 7/29 (土) わくわくキッズ、ゆいまーる・ふくしま保護者学習会

※予定は変更になる場合がございます。ご了承ください。



我が家の逸品

セカンドハウスわくわく 居宅・介護

高等部に向けた自力通学の支援を紹介します！

行動援護のサービスは、外出活動がメインになります。

外出活動のサービスを利用されている〇様の支援について紹介させていただきます。

この春から高等部へ入学

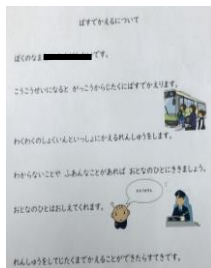


自力通学に向けてヘルパーと一緒に公共の乗り物（バス）を利用して練習を重ねて行くことになりました。



本人への事前告知、事前学習では、ソーシャルストーリーズを作成して、何故バスにのるのか？バスのルールなどについてお伝えしました。

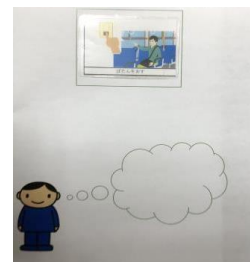
バスの乗車の一連の流れは、本人が携帯しやすい手順書を準備して、使い方の確認などおこないました。



ソーシャルストーリーズ



手順書



ふりかえり
(こんな時どうだった?)

☆ 現在は、一人で登下校できるようになっています。

〇様と振り返りを行い、分からない所、不安に思う場面などについて、ひとつずつ〇様の気持ちの見える化をしていきながら課題を解決していくことで、成功体験を重ね、自信がもてるよう支援していきたいと思えます。

おねがい

- ・受給者証が新しくなりましたら、できるだけ早く事業所へご提示下さい。
 - ・いつも空き缶等のご寄付を本当にありがとうございます。
- 今後とも空き缶、ペットボトル、古いシーツ、タオルケット等のご寄付をご協力お願い致します。
- ・事業所をご利用される場合は、持ち物にお名前をご記入くださるようお願い致します。

編集後記

今年は桜の開花が早く、季節の流れが早く感じます。
令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類相当から5類感染症に移行し、イベントの開催や行事でにぎわう事も増えるのかなと思うこの頃です。今年度もよろしくお祈りします。



知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
 - 就労に関する相談支援
 - 権利擁護に関する相談支援
- の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、自閉症児者のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー 南東北支店
〒980-0804 仙台市青葉区大町2-3-11
レイトンビル7F
TEL: 0120-294-747(フリーダイヤル) FAX: 022-264-0081
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事者事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

主な補償内容

病気やケガで入院したとき 入院給付金	病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金 ※プランによって補償します	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金	就労中に他人にケガをさせたり 物を壊してしまったとき 職業従事者事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

保険のお問合せはこちら

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
仙台支店
〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-8-3 富士火災仙台ビル3階
TEL: 022-726-7551
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

福島県知的障害児者生活サポート協会
〒960-8141 福島市渡利字七社宮111
福島県総合社会福祉センター
福島県手をつなぐ親の会連合会内
TEL: 024-573-5980 FAX: 024-522-7228

2022年12月現在の内容です。(D-006318 2024-03)

※記事や写真の掲載に関しましてはご本人様・保護者様の承諾を得ております。